

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和5年2月9日

市川市長

団体名 ケアカフェいちかわ
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

在宅医療介護啓蒙の為に市民まつり出展事業

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。）

ケアカフェいちかわは、在宅医療や在宅介護、地域福祉に関わる専門職が多く所属しています。市民まつりに出展し、在宅医療や在宅介護などの情報や知識の提供（ミニケアカフェ開催、相談窓口設置やアンケート実施など）。在宅医療や在宅介護、子育て・育児などについて、「情報を得て」「自分で考え」「気づき」などに繋げていく。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 181,100 円

5 補助対象経費総額 145,100 円

6 交付申請額 72,550 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



1 団体の概要

団 体 名	ケアカフェいちかわ		
代 表 者 氏 名	[Redacted]		
主たる事務所の所在地			
	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ） 】		
その他事務所の所在地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	☒ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☐ 2 社会教育の推進 ☐ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☐ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 災害救援活動 ☐ 9 地域の安全の確保 ☐ 10 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 11 国際協力 ☐ 12 男女共同参画社会の形成の促進 ☐ 13 子どもの健全育成 ☐ 14 情報化社会の発展 ☐ 15 科学技術の振興 ☐ 16 経済活動の活性化 ☐ 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 ☐ 18 消費者の保護 ☐ 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 ☐ 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	平成27年4月1日	会 員 数	13名（2023年2月現在）
ホ ー ム ペ ー ジ	http://carecafe-ichikawa.jimdo.com/	E - m a i l	carecafe.ichikawa@gmail.com
会 報 等 の 発 行	有 （ 回 発行 ） ・ 無		
団体の活動目的	本会は、市川市地域福祉計画の基本理念『だれもが住み慣れた地域で自立した生活を送るとともに、自らも参画し、安心して暮らすことのできるまちをつくる』に賛同し、その実現のために活動を行う。		
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	（注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ はい ・ いいえ ）		

主 な 事 業 内 容	本会は目的を達成するために次の事業を実施する。 (1) 市川市内の介護・医療・福祉の専門職の顔の見える連携づくりと、日頃のケアの相談場所を提供する活動。 (2) 介護・医療・福祉について、市川市民と専門職と一緒に考える場所をつくる活動。 (3) 介護予防教室の開催。 (4) 地域ケアの充実、地域連携に関わる活動。 (5) 在宅を中心とした介護・医療・健康に関する啓蒙活動。 (6) その他、目的の達成に必要な活動。
こ れ ま で の 主 な 活 動 実 績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	・ケアカフェいちかわの企画や運営。（過去 63 回、毎月開催） ・市内高サボと連携し、介護予防の講師派遣。 ・平成 27 年～30 年、4 年連続市民まつり出展 ・市川市認知症カフェ「オレンジカフェすわだ」毎月開催 ・公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団「市民の集い開催への助成」（平成 28 年度）
団体の特徴、アピールをしたいこと等	ケアカフェいちかわは、在宅介護や在宅医療に興味関心のある市川市民や専門職の「顔の見える繋がりづくり」の場で集まったメンバーです。立場や肩書き、職種関係なく、フラットな関係づくりをする中で、様々なテーマで語り合ってきました。仲間同士の会話の中から自然と「自分たちの知識や情報を地域住民に還元し、役に立ちたい」との思いから、昨年は市民まつりに出展しました。当団体のテントを訪れた方には大変好評でしたので、今年も出展したいと考えております。

2 申請に係る連絡先

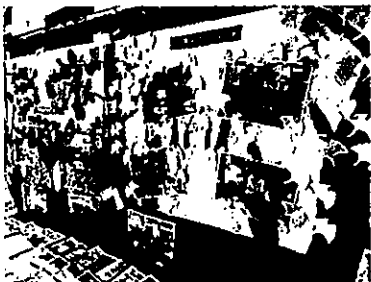
事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙会員名簿添付）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
会長			市川市
副会長			埼玉県さいたま市
副会長			市川市
監事			市川市

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	在宅医療介護啓蒙の為に市民まつり出展事業
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	☒ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☐ 2 社会教育の推進 ☒ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☐ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 災害救援活動 ☐ 9 地域の安全の確保 ☐ 10 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 11 国際協力 ☐ 12 男女共同参画社会の形成の促進 ☐ 13 子どもの健全育成 ☐ 14 情報化社会の発展 ☐ 15 科学技術の振興 ☐ 16 経済活動の活性化 ☐ 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 ☐ 18 消費者の保護 ☐ 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 ☐ 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課 題は何ですか	・現在介護をしている人へ、在宅介護・在宅医療の情報提供。 ・高齢者や障害者の災害時の対処方法を提供。避難時の対応方法を知る。 ・地域の支えあい、おたがいさまの精神の意識を持つ。自助、共助。
地域課題により困 っている人は誰で すか	介護をしている人(介護者) 介護を受けている人(利用者) 高齢者、障害者 育児、子育て世代
事業を行う目的は 何ですか	・現在、介護をしている人や受けている人への情報提供。 ・在宅介護、在宅医療情報の啓蒙 ・幼老一体のおまつりスペース ・地域の支えあいの意識の向上 ・困っている人、住みづらいつと感じている市民への相談場所の提供
事業の実施方法 (該当するものに○、 例示以外は具体的に記 載)	講演会 セミナー <u>講座</u> 研修会 <u>ワークショップ</u> <u>交流会</u> 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他： 健康指導、無料理学療法・鍼・灸・マッサージ体験
事業の主体 (該当するものに○)	<u>当該団体</u> / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） 指摘なし 指摘あり 改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか 市川市民（参加想定人数 300人）
	事業はいつ行いますか 令和5年11月3日
	事業はどこで行いますか 大洲防災公園
	【情報提供と啓蒙】 ・ミニケアカフェ開催 テーマを決めて5～6名程度でおしゃべり。（介護や医療、地域に関するテーマで）  ←ミニケアカフェ開催風景 事業をどのように行いますか （事業の内容を具体的に記載してください。） ・テント内掲示物を見てもらい、福祉に興味を持ってもらう。 ・市内高齢者サポートセンターなどからの地域情報掲示展示  



- ・介護・健康食品のサンプル展示・配布
- ・在宅介護医療、薬に関するよろず相談



← 歯科医師が発語障がいのある方の相談風景

【幼老一体のおまつりスペース】子どもには高齢者をいたわる気持ちが育まれ、思いやりやマナーが身につく。高齢者にとっては、子どもと触れ合うことで自分の役割を見つけ、活力が生まれる。

- ・駄菓子販売、くじ引き、型抜きなどで祭り来場者(特に子ども、保護者)に当団体に興味を持ってもらう



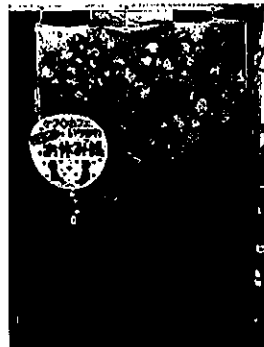
← (2022年くじ引き販売風景)

- ・テント内「お休み処」設置 →まつりで歩き疲れた方の休憩所。高齢者と子どもたちとの交流。

- ・お休み処でアンケートを実施。その場で困ったことが分ければ専門職(ケアカフェスタッフ)に繋げていく。→課題解決へ

【集客】

- ・市川市のご当地ヒーロー「XXXXXXXXXX」さんによるグリーディングと集客
(Twitter フォロワー3,000 以上)



		↑ 2022 年開催時の様子	
	外部講師等への依頼はありますか	なし / <u>あり</u> (参加する市民の人数 300 人)	
準備	(時期) 4 月	(やること)	(担当人数)
	5 月	LINE グループを使った情報・意見交換は随時実施する	13 人
	6 月		
	7 月		
	8 月	打合せ・役割分担を決める(上旬に1回) →広報(告知方法、チラシ)、開催までのスケジュールについても検討	13 人
	9 月	チラシ作成 担当: [REDACTED] 事前打合せ・(2 回程度) 担当: [REDACTED] →出展内容、備品確認、当日スケジュールを検討	5 人
	10 月	10/2 打合せ開催 備品調達(10 月 20 日迄に) 責任者: [REDACTED] 最終確認 担当: [REDACTED]	7 人
	11 月	11/3 市民まつり出展	25 人
	12 月	終了後、振返りの会開催 来年度に向けて検討 事業内容を HP、Facebook など発信 責任者: [REDACTED]	1 人
	1 月		
	2 月		
	3 月		
広報の計画及び方法		※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画(別紙添付可) 市民まつりで、どんな内容で出展するのか知ってもらう。毎月開催しているケアカフェやオレンジカフェでのチラシ配布(昨年のチラシ別紙添付)や、インターネットを通じて広報する。特に在宅介護をされていない方にも、たくさん来ていただけるような広報を検討する(10 月打	

	合せにて)。チラシの配布は、1 か月前からの予定。(テント位置など直前でないとわからない為) 2 広報の方法 ☒ インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) ☐ フリーペーパーへの掲載 ☐ 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 ☐ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☐ その他 ()
--	---

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	70,000	駄菓子販売20,000円。くじ引き販売30,000円。型抜き料金20,000円。（2022年実績85,950円）
寄附金収入		
補助金収入	72550	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	38550	団体の本会計より充当
合 計	181100	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	15000	15000	グリーンディング報酬（ XXXXXXXXXX ）
交通費	13500	13500	駐車場3台（2,000×3台）。スタッフ交通費（500×15名）
消耗品費	22000	11000	テント内装飾備品：テーブル各種、チラシスタンド（10,000）、A4封筒（1000）（対象外）スタッフ飲食用コップ（1,000）、コーヒー紅茶（5,000）、菓子（5,000）
印刷製本費	12000	12000	チラシ印刷代（10,000）、アンケート用印刷物（2,000）
通信運搬費	5600	5600	市内医療介護事業所へチラシ郵送（140×40か所）
保険料	12500	12500	ボランティア保険（500×25名）
使用料 及び賃借料	50500	50500	〈市民まつり実行委員会へ支払い〉テント2張（10,000×3張=30,000）。テーブルレンタル（800×15台=12,000）。イス25脚（200×35脚=7,000）。電源使用料（1,500）
原材料費	25000	25000	駄菓子（10,000）。くじ引き（10,000）。型抜き（5,000）
福利厚生費	25000		スタッフ昼食（1,000×25名）
合 計	181100	145100	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和3年度の事業報告

団体名称 ケアカフェいちかわ

1. 事業の成果

認知症カフェの継続開催。認知症の方やそのご家族が安心して出かけられる場づくり。感染状況、社会情勢などを鑑み、本来の主な事業であった「ケアカフェいちかわ」は開催できなかった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
オレンジカフェてこな	認知症カフェ	第3日曜	真間稲荷神社 集会場/須和田 自治会館	36人	96人 (90人)	60,000
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				36人 (a)	96人 (b) (90人)	60,000 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
活動無し				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				0人 (d)	0人 (e) (0人)	0 (f)
合計				(a) + (d) = (g) 36	(b) + (e) = (h) 96	(c) + (f) = (i) 60,000

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	100%	100%	100%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和5年2月9日

団体名 ケアカフェいちかわ

代表者名

(自署又は押印)

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和 5 年 2 月 6 日

市川市長

団 体 名 緑のみずがき隊
代 表 者 名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称

環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。）

失われつつある水田や池など湿地の生きものと直接触れ合える場をより多くの方に提供し、自然観察や教育水田の稲作、地域の伝統行事などの体験を通じて、自然環境に対する意識を高め地域の歴史・文化を大切にする心を育てます。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 190,000円

5 補助対象経費総額 170,000円

6 交付申請額 85,000円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



様式第2号(第5条関係)

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調査書

1 団体の概要

団 体 名	緑のみずがき隊																																										
代 表 者 氏 名																																											
主たる事務所の所在地	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他 () 】																																										
その他事務所の所在地	なし																																										
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<table border="1"> <tr><td>☐</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☒</td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☒</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>			☐	1 保健、医療又は福祉の増進	☐	2 社会教育の推進	☐	3 まちづくりの推進	☐	4 観光の振興	☐	5 農業又は水産業の振興	☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☒	7 環境の保全	☐	8 災害救援活動	☐	9 地域の安全の確保	☐	10 人権の擁護又は平和の推進	☐	11 国際協力	☐	12 男女共同参画社会の形成の促進	☒	13 子どもの健全育成	☐	14 情報化社会の発展	☐	15 科学技術の振興	☐	16 経済活動の活性化	☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18 消費者の保護	☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☐	1 保健、医療又は福祉の増進																																										
☐	2 社会教育の推進																																										
☐	3 まちづくりの推進																																										
☐	4 観光の振興																																										
☐	5 農業又は水産業の振興																																										
☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																										
☒	7 環境の保全																																										
☐	8 災害救援活動																																										
☐	9 地域の安全の確保																																										
☐	10 人権の擁護又は平和の推進																																										
☐	11 国際協力																																										
☐	12 男女共同参画社会の形成の促進																																										
☒	13 子どもの健全育成																																										
☐	14 情報化社会の発展																																										
☐	15 科学技術の振興																																										
☐	16 経済活動の活性化																																										
☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																										
☐	18 消費者の保護																																										
☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																										
☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																										
設 立 年 月 日	1998年11月22日	会 員 数	59名(令和5年2月現在)																																								
ホームページ	http://www.mizugakitai.net	E-mail																																									
会報等の発行	㊦ (年12回 発行) ・ 無																																										
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	ホタル、トンボなどの生息する水辺と水辺を取り巻く自然生態系を復活させ、ボランティア自身が自然に対する意識を高めるとともに、子どもたちをはじめとする多くの方々に、直接自然と触れ合うことのできるフィールドを提供することを目的としています。 (注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。)」のことが定められていますか。(☐ はい ・ ☐ いいえ)																																										

主な事業内容	・環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』の実施 ・地元小学校への教育水田や環境教育のフィールド及び人材の提供 ・「北方生きもの子どもミニ自然園」の維持管理作業 ・大柏川第一調節池緑地でのボランティア活動 ・隊報「みどりのみずがき」の発行 ・水と緑を生かしたまちづくりの調査・研究と各方面への提言
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	2021年4月～2022年3月の実績 ・環境教育プログラム『みどりの寺子屋』5回173名参加、『緑の楽交』2回45名参加（広く募集した一般参加者数で隊員を除く） ・小学校のミニ自然園の利用 稲作体験などで3校。 ・ミニ自然園の維持管理作業 毎月2回、各回10人程度で実施。 ・大柏川第一調節池緑地のボランティア 外周部の草刈3回とゴミ拾い清掃を毎月2回。 ・上記草刈・ゴミ拾いは「市民参加による公園等の管理作業」で補助金を受ける。 ・隊員向けに隊報、一般向けに案内リーフレットの発行。 ・大柏川第一調節池緑地の保全と活用について市川市と意見交換を7回実施。
団体の特徴、アピールをしたいこと等	豊かに自然を残したい！子供に文化と笑顔を！私達の思いです。毎月第2・4土曜日、ミニ自然園や北方遊水池で作業し水田や池など水辺の自然を復元しています。 申請事業の『みどりの寺子屋』『緑の楽交』では、市民プール前の北方ミニ自然園で田植えや稲刈りしたり隣の遊水池でトンボや野鳥を観察したり、親子で自然体験して楽しめます。20年余りに及ぶ実績があり、2016年6月に千葉県環境功労者知事感謝状、2020年11月に市川市社会福祉協議会から感謝状を受けました。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
隊長		代表	市川市
事務局員		調整・企画	習志野市
事務局員		調整	市川市
事務局員		調整	市川市
事務局員		運営	市川市
事務局員		運営	市川市
会計		会計・企画	市川市
会計		会計・運営	市川市

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td>☐</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☒</td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☒</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	☐	1 保健、医療又は福祉の増進	☐	2 社会教育の推進	☐	3 まちづくりの推進	☐	4 観光の振興	☐	5 農業又は水産業の振興	☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☒	7 環境の保全	☐	8 災害救援活動	☐	9 地域の安全の確保	☐	10 人権の擁護又は平和の推進	☐	11 国際協力	☐	12 男女共同参画社会の形成の促進	☒	13 子どもの健全育成	☐	14 情報化社会の発展	☐	15 科学技術の振興	☐	16 経済活動の活性化	☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18 消費者の保護	☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☐	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
☐	2 社会教育の推進																																								
☐	3 まちづくりの推進																																								
☐	4 観光の振興																																								
☐	5 農業又は水産業の振興																																								
☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
☒	7 環境の保全																																								
☐	8 災害救援活動																																								
☐	9 地域の安全の確保																																								
☐	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
☐	11 国際協力																																								
☐	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
☒	13 子どもの健全育成																																								
☐	14 情報化社会の発展																																								
☐	15 科学技術の振興																																								
☐	16 経済活動の活性化																																								
☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
☐	18 消費者の保護																																								
☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	自然の中で遊び学ぶことは貴重な体験となり、特に子どもには健全な成長に不可欠です。市川では都市化が進み河川改修や水田消失などで湿地の自然は稀少になっています。子どもが生きものと直接触れ合える水田や池などが身近にあることが重要で、その場を大人が提供する必要があります。																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	自然体験が不足している子どもと健全な子どもの成長を願う親。 自然との共存を求める市民。																																								
事業を行う目的は 何ですか	水田や池など湿地の生きものと直接触れ合える場をより多くの方に提供し、自然観察や教育水田の稲作、地域の伝統行事などの体験を通じて、自然環境に対する意識を高め地域の歴史・文化を大切にする心を育てることを目的としています。																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 <u>体験学習</u> フェスティバル <u>保全活動</u> その他：																																								
事業の主体 (該当するものに○)	<u>当該団体</u> / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） 指摘 なし / 指摘 あり 改善策	
事業 内 容	事業の <u>対象者</u> は誰ですか	幼児・小学生とその保護者、大柏川第一調節池緑地の来園者一般 （参加想定人数 400人）
	事業はいつ行 いますか	令和5年4月～令和6年2月、合計13回
	事業はどこで 行いますか	みどりの寺子屋：北方生きもの子どもミニ自然園（北方町4丁目地先） 緑の楽交：大柏川第一調節池緑地（北方遊水池）
	事業をどのよ うに行います か （事業の内容 を具体的に記 載してくださ い。）	毎月1回程度で年間13回、その都度に広く一般に呼びかけて参加者を募集し、自然観察や稲作体験、伝統文化の体験など季節に応じて地域の自然や文化に触れる企画を開催します。今年度は3密（密閉・密集・密接）にならないように野外活動にしたり人数制限したり消毒を徹底したりするなど対策を取り、新型コロナウイルスの感染を防止します。 また、企画が実施できるようにミニ自然園や北方遊水池を整備し、維持管理します。
	外部講師等への依頼はあり ますか	なし / ☒ あり （参加する市民の人数 50人）

	(時期)	(やること) ※みどりの寺子屋は「寺子屋」、緑の楽交は「楽交」と略 実施責任者： 連絡責任者：	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	寺子屋「食べられる野草の観察」	10人
	5月	寺子屋「田植え」	10人
	6月	楽交「ツバメの観察」	10人
	7月	寺子屋「かかしを作ろう」	10人
	8月	楽交「夏の水辺の自然観察（トンボ・カブトムシなど）」	10人
	9月	寺子屋「稲刈り」	10人
		寺子屋「脱穀」	10人
	10月	楽交「秋のトンボ調査」	10人
		寺子屋「収穫祭（餅つきと民話語り）」	15人
	11月	楽交「冬の野鳥観察」	10人
	12月	楽交「わらないリースとしめ縄づくり」	10人
	1月	楽交「団子あげ」	10人
	2月	寺子屋「春の水辺の自然観察（カエルの産卵や野草など）」	10人
		・合計13回、一般対象の企画を行います。 ・毎月第2、4土曜日を中心に年間30回程度、ミニ自然園と大柏川第一調節池緑地で整備作業し、随時に企画の打ち合わせや準備を行います。	
広報の計画 及び方法	※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画（別紙添付可） ・各企画の約30日前に地域紙や新聞地域版などマスコミに案内を送り掲載をお願いします。 ・各企画の約20日前に、チラシ・ポスターを作成・印刷し、各方面へ配布します。 2 広報の方法 ☒ インターネットを活用した情報発信 （ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等） ☒ フリーペーパーへの掲載 ☐ 広報いちかわ（市民の広場）に掲載 ☒ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☒ その他 （年2回、過去半年間の参加者へ案内ハガキを郵送する）		

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	32,000	参加費 収穫祭400円×30名+200円×10名、わらないリース200円×20名+100円×10名、その他の会100円×130名 小学生以上から徴収
寄附金収入		
補助金収入	85,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	73,000	団体の本会計より充当
合 計	190,000	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	11,000	11,000	外部講師謝礼 5,000円×1回、3,000円×2回
交通費			
消耗品費	77,500	77,500	稲苗、肥料、インク、チラシ用紙等 伝統行事、収穫祭等の食材や材料等 広場、畔、水源、水路、納屋等整備の機器補修部品等
印刷製本費	4,000	4,000	配布資料、ポスターのコピー250円×13回、コピー用紙代金
通信運搬費	6,300	6,300	案内葉書63円×100枚、切手等、
保険料	11,200	11,200	ボランティア保険28円×400名
使用料 及び賃借料	60,000	60,000	土地借用：30,000円×1軒 15,000円×2軒
原材料費			
備品購入費	20,000		農機具、園芸機器等
合 計	190,000	170,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和3年度の事業報告

団体名称 緑のみずがき隊

1. 事業の成果

北方ミニ自然園で自然環境の復元を進め、みどりの寺子屋を開催し、近隣小学校に稲作体験や自然観察の場を提供した。北方遊水池で草刈・ゴミ拾いを行い、緑の楽交を開催した。大柏川第1調節池緑地や北方ミニ自然園の保全と活用について、市川市と意見交換した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
環境教育プログラム『みどりの寺子屋』『緑の楽交』	自然環境を復元し地域の自然や文化に触れる企画を一般募集して開催	7回	北方ミニ自然園、北方遊水池	213人 (準備を含む)	218人(190人)	198,509
学校支援	地元小学校へ教育水田や環境教育のフィールド及び人材の提供。	3校に実施し1校で年3回、秋に出張指導2回	北方ミニ自然園、各小学校	240人 (準備を含む)	1221人(1221人)	44,491
大柏川第一調節池緑地でのボランティア活動	同緑地外周部の草刈とゴミ拾い清掃	6、7、10月に草刈、毎月2回ゴミ拾い	北方遊水池	59人	同緑地来園者全般	15,000
大柏川第1調節池緑地やミニ自然園の保全と活用の意見交換	西廣澤先生(国立環境研究所)を交え市と意見交換。ミニ自然園の保全で市と意見交換。	11回	大柏川ビクターセンター他	30人	大柏川第一調節池緑地来園者他	1,000
水と緑のまちづくり	水と緑を生かしたまちづくりの調査・研究と各方面への提言	4回	大柏川流域、東部公民館	15人	大柏川流域住民全般	1,000
小計				557人(a)	1439人(1411人) (b)	260,000 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
事務局打ち合わせ	各事業の進行管理、隊報の発行と隊員の交流促進	毎月1回程度、合計14回	東部公民館他	140人	140人(126人)	70,000
小計				140人(d)	140人(126人)(e)	70,000 (f)

合計	(a)+(d)=(g) 697人	(b)+(e)=(h) 1579人	(c)+(f)=(i) 330,000
----	---------------------	----------------------	------------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g) 79%	(b)/(h) 91%	(c)/(i) 79%
---	----------------	----------------	----------------

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としていない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和5年 2月 6 日

団体名 緑のふすかぎ隊

代表者名 [REDACTED]

(自署又は押印)

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和5年 2月 6日

市川市長

団体名 アシカちゃんクラブ
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称 知的障害児・者のための水泳療育

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。）

知的障害児・者の健やかな成長を願って、水泳指導による機能訓練及び水泳技能の向上と会員相互の親睦を図ることを目的とする。水泳指導により障害児・者の心と体を育てていく。障害児・者にとって、水泳活動は、心身共にリラックスできる大切な機会であり、そこでの訓練により心と体の成長に大きな効果がある。また、親子で水泳療育を行うことにより、親子・会員相互の親睦を図ることができる。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 704,400 円

5 補助対象経費総額 696,000 円

6 交付申請額 150,000 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



1 団体の概要

団 体 名	アシカちゃんクラブ																																										
代 表 者 氏 名																																											
主たる事務所の所在地																																											
	【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ） 】																																										
その他事務所の所在地																																											
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<table border="1"> <tr><td>☒</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>			☒	1 保健、医療又は福祉の増進	☐	2 社会教育の推進	☐	3 まちづくりの推進	☐	4 観光の振興	☐	5 農業又は水産業の振興	☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☐	7 環境の保全	☐	8 災害救援活動	☐	9 地域の安全の確保	☐	10 人権の擁護又は平和の推進	☐	11 国際協力	☐	12 男女共同参画社会の形成の促進	☐	13 子どもの健全育成	☐	14 情報化社会の発展	☐	15 科学技術の振興	☐	16 経済活動の活性化	☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18 消費者の保護	☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☒	1 保健、医療又は福祉の増進																																										
☐	2 社会教育の推進																																										
☐	3 まちづくりの推進																																										
☐	4 観光の振興																																										
☐	5 農業又は水産業の振興																																										
☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																										
☐	7 環境の保全																																										
☐	8 災害救援活動																																										
☐	9 地域の安全の確保																																										
☐	10 人権の擁護又は平和の推進																																										
☐	11 国際協力																																										
☐	12 男女共同参画社会の形成の促進																																										
☐	13 子どもの健全育成																																										
☐	14 情報化社会の発展																																										
☐	15 科学技術の振興																																										
☐	16 経済活動の活性化																																										
☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																										
☐	18 消費者の保護																																										
☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																										
☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																										
設 立 年 月 日	平成10年1月	会 員 数	16名（令和5年2月現在）																																								
ホームページ	なし	E - m a i l	jimukyoku@ashikachan-club.sakura.ne.jp																																								
会報等の発行	☐ 有 （ 不定期 発行 ） ・ 無																																										
団体の活動目的	知的障害児・者の健やかな成長を願って水泳指導による機能訓練及び水泳技術の向上と会員相互の親睦を図ることを目的とする。																																										
団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	（注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ ☐ はい ・ ☐ いいえ ）																																										

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	知的障害児・者のための水泳療育																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td>✓</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td></td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td></td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td></td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>✓</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td></td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	✓	1 保健、医療又は福祉の増進		2 社会教育の推進		3 まちづくりの推進		4 観光の振興		5 農業又は水産業の振興		6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興		7 環境の保全		8 災害救援活動		9 地域の安全の確保		10 人権の擁護又は平和の推進		11 国際協力		12 男女共同参画社会の形成の促進	✓	13 子どもの健全育成		14 情報化社会の発展		15 科学技術の振興		16 経済活動の活性化		17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援		18 消費者の保護		19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援		20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
✓	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
	2 社会教育の推進																																								
	3 まちづくりの推進																																								
	4 観光の振興																																								
	5 農業又は水産業の振興																																								
	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
	7 環境の保全																																								
	8 災害救援活動																																								
	9 地域の安全の確保																																								
	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
	11 国際協力																																								
	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
✓	13 子どもの健全育成																																								
	14 情報化社会の発展																																								
	15 科学技術の振興																																								
	16 経済活動の活性化																																								
	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
	18 消費者の保護																																								
	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	知的障害児・者及びその保護者が、安全・安心に専門家による水泳療育を受けられる場所がない。																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	知的障害児・者及びその保護者																																								
事業を行う目的は 何ですか	知的障害児・者の健やかな成長を願って水泳指導による機能訓練及び水泳技術の向上と会員相互の親睦を図ることを目的とする。																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他： クリーンスパ市川を利用しての水泳療育																																								
事業の主体 (該当するものに○)	当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足																																								
改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること）																																								

	指摘 なし	/	指摘 あり	改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか	主に市川市民 (参加想定人数 1回あたり33人)		
	事業はいつ行いますか	令和5年4月～令和6年3月		
	事業はどこで行いますか	クリーンスパ市川		
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	クリーンスパ市川にて 月2回第2, 第4土曜日 午前10時～11時 (25mプールのうち2レーンを貸し切る) 水泳療育専門コーチに、個々の会員の状態に合った体の動かし方等の指導を受ける。 指導内容は、日本国内では水泳療育の第一人者である、XXXXXXXXXX氏のスキンシップ水泳療育理論に基づいて行われている。 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 水泳療育専門コーチとは、XXXXXXXXXXとその門下のXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXである。XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
	外部講師等への依頼はありますか	なし / ☒ あり (参加する市民の人数 30人)		

	(時期)	(やること)	(担当人数)
準備スケジュール (別紙添付可)	4月	水泳療育 毎月第2, 第4土曜日10時～11時の予定。 (クリーンスパ市川側の理由で日時変更の場合あり)	
	5月	(3月～4月頃)	
	6月	・クリーンスパ市川との年間日程調整 担当 ・会員に対し, 会費振り込み依頼 担当 ・会費の入金確認 担当 ・会員募集チラシ作成 担当	1名 1名 1名 1名
	7月	(不定期) アシカちゃんクラブ通信 発信 担当	1名
	8月	(毎回 (2回/毎月)) ・会員の出欠確認 担当 ・コーチとの調整 担当 ・ボランティアの調整 担当	1名 1名 1名
	9月		
	10月	(毎月) ・指導料の支払い 担当	1名
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画 及び方法	※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画 (別紙添付可) 2 広報の方法 ☒ インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) ☐ フリーペーパーへの掲載 広報いちかわ (市民の広場) に掲載 ☒ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☐ その他 ()		

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	554400	団体の本会計より充当
合 計	704400	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	696000	696000	講師料（4名）29,000円/回×24回
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	1500		チラシ会報印刷代，コピー代
通信運搬費	5500		レンタルサーバー代
保険料			
使用料 及び賃借料			
振込手数料	1400		振込手数料
合 計	704400	696000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和 4年度の事業報告

団体名称 アシカちゃんクラブ

1. 事業の成果

水泳療育を行うことにより、心と体の成長に大きな効果があった。また、親子での水泳療育参加により、会員相互間の親睦を深めることができた。コロナ禍により、チラシ配布程度で積極的な会員募集活動を行うことができなかったが新規入会者が3名加わり、安心・安全に配慮しながら、障害を持った会員が笑顔で楽しく参加することができ、大変有意義であった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
知的障害児・者のための水泳療育	水泳療育による知的障害児・者の機能訓練及び心身の安定を図る。	毎月第2第4土曜日	クリーンスパ市川	86人	510人 (486人)	575,500
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				86人 (a)	510人(b) (486人)	575,500(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
総会	代表者等役員と水泳指導者として協議する	令和5年3月末(予定)	ライン等を利用したリモート会議	6人	6人 (6人)	0
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				6人 (d)	6人(e) (6人)	0(f)
合計				(a)+(d)=(g) 92	(b)+(e)=(h) 516	(c)+(f)=(i) 575,500

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
	93%	99%	100%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としていない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和5年2月6日

団体名 アシカちゃんクラブ

代表者名 

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和5年2月9日

市川市長

団 体 名 特定非営利活動法人
ニッポンアクティブライフクラブ
市川拠点「ナルク市川」

代表者名
所在地

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称
「市民公開講座」事業
- 2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

地域でいきいきと活動するシニアや女性を中心に多くの市民を応援する講座。
医療・介護・福祉の最新の情報やボランティア活動のための実践的なノウハウを定例的に年
間を通じて提供する。
また、こうした活動へ参加することで介護予防や人的ネットワークの構築にもつなげる。

- 3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) ・ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回以上

4 補助対象事業費総額 440,000円

5 補助対象経費総額 400,000円

6 交付申請額 150,000円

7 添付書類

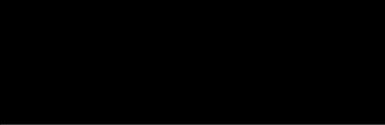
- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



様式第2号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブ市川拠点「ナルク市川」																																																														
代 表 者 氏 名																																																															
主たる事務所の所在地	 【 ○専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ） 】																																																														
その他事務所の所在地	なし																																																														
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<table border="1"> <tr><td>☒</td><td>1</td><td>保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2</td><td>社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3</td><td>まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4</td><td>観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5</td><td>農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>6</td><td>学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>7</td><td>環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8</td><td>災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9</td><td>地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10</td><td>人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11</td><td>国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12</td><td>男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>13</td><td>子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14</td><td>情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15</td><td>科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16</td><td>経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17</td><td>職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18</td><td>消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19</td><td>前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20</td><td>前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>			☒	1	保健、医療又は福祉の増進	☐	2	社会教育の推進	☐	3	まちづくりの推進	☐	4	観光の振興	☐	5	農業又は水産業の振興	☐	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☐	7	環境の保全	☐	8	災害救援活動	☐	9	地域の安全の確保	☐	10	人権の擁護又は平和の推進	☐	11	国際協力	☐	12	男女共同参画社会の形成の促進	☐	13	子どもの健全育成	☐	14	情報化社会の発展	☐	15	科学技術の振興	☐	16	経済活動の活性化	☐	17	職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18	消費者の保護	☐	19	前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20	前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☒	1	保健、医療又は福祉の増進																																																													
☐	2	社会教育の推進																																																													
☐	3	まちづくりの推進																																																													
☐	4	観光の振興																																																													
☐	5	農業又は水産業の振興																																																													
☐	6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																																													
☐	7	環境の保全																																																													
☐	8	災害救援活動																																																													
☐	9	地域の安全の確保																																																													
☐	10	人権の擁護又は平和の推進																																																													
☐	11	国際協力																																																													
☐	12	男女共同参画社会の形成の促進																																																													
☐	13	子どもの健全育成																																																													
☐	14	情報化社会の発展																																																													
☐	15	科学技術の振興																																																													
☐	16	経済活動の活性化																																																													
☐	17	職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																																													
☐	18	消費者の保護																																																													
☐	19	前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																																													
☐	20	前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																																													
設 立 年 月 日	平成16年5月	会 員 数	158名（令和5年 1月末現在）																																																												
ホームページ	有	E - m a i l	narukuitikawa@gmail.com																																																												
会報等の発行	○有 （ 1 回 毎月 発行 ） ・ 無																																																														
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	<自立><奉仕><助け合い>を基本理念に家事援助、介助援助、子育て支援などボランティア活動を展開。中高年齢者の社会参加の推進。 会員同志の助け合い、親睦から地域にネットワークを拡げて社会的に要請されている地域のコミュニティーづくりに貢献する。 （注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ ○はい ・ いいえ ）																																																														

主な事業内容	①時間預託点数による＜助け合い＞活動 ②高齢者への家事援助、介助、子育て支援など地域での活動 ③講演、セミナー、イベントなどによるノウハウの蓄積と人のネットワークづくり ④同好会、健康ウォーク、名画上映会など自立支援の活動
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	平成16年5月27世帯41名で市川拠点設立。 平成29年4月末現在178世帯248名と順調に成長。 活動を会員同志の助け合いから地域での活動へと輪を拡げ、その後コロナ禍で活動は停滞、117世帯158名に。地域福祉に貢献。 「市川市の1%支援制度」（平成17年度から27年度まで） 平成28年度から市川市市民活動団体支援金事業に参加
団体の特徴、アピールをしたいこと等	「自立支援」「助け合い」「家事支援」など幅広く福祉活動を展開している。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
代表		実行委員	市川市
副代表		〃	市川市
〃		〃	市川市
〃		〃	市川市
事務局長		〃	市川市

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	「市民公開講座」事業
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	☒ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☒ 2 社会教育の推進 ☐ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☒ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 災害救援活動 ☐ 9 地域の安全の確保 ☐ 10 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 11 国際協力 ☐ 12 男女共同参画社会の形成の促進 ☐ 13 子どもの健全育成 ☐ 14 情報化社会の発展 ☐ 15 科学技術の振興 ☐ 16 経済活動の活性化 ☐ 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 ☐ 18 消費者の保護 ☐ 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 ☐ 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課 題は何ですか	高齢期になって外出の少なく（この3年間は特にコロナ過で減少している） 家に閉じこもりがちで運動不足やストレスから心身に不調を抱えている市 民が増えている。 便利な機能を持つ ICT 機器を購入したが使いこなせていない人が増えてい る。
地域課題により困 っている人は誰で すか	支援を必要としている要介護、要支援の方、出かける場所がなく家にこもり がちな高齢者、女性など。
事業を行う目的は 何ですか	こうした方を対象に「学ぶ」「知る」「楽しむ」をテーマにイベント、講座を 企画して外出の機会を提供する。
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	○講演会 セミナー ○講座 ○研修会 ○ワークショップ○交流会 大会開催 ○発表会 ○コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他：
事業の主体 (該当するものに○)	○当該団体 /市の他課 /他の団体 /その他 () 上記に関する補足

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） ○指摘なし / 指摘あり	改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか	一般市民 ナルク会員 （参加想定人数 年間 450 人 ）前年度 304 名
	事業はいつ行いますか	6 月から定例で（月 1 回以上予定）
	事業はどこで行いますか	市川市男女共同参画センター・全日警ホールなど
	事業をどのように行いますか （事業の内容を具体的に記載してください。）	「学ぶ」「知る」「楽しむ」をコンセプトに市民公開講座」事業を推進します。 ・文化的なイベント（特にコンサート）が人気 ・もしもの時のノウハウもの ・ボランティアなど参加のすすめ ・“うたごえ”の再開 *年間を通じて計画的に以下の事業を実施 ○設立 20 周年ナルク市川福祉フェスティバル 6 月 ・ピアノトリオ”ミューズ”の演奏 ・「うたごえ」「音楽体操」「カラオケ」などの発表会 ○音楽コンサート ・サマーコンサート（アラベスク） 8 月 ・クリスマスコンサート（アラベスク） 12 月 ・ニューイヤーコンサート（キャラバン） 1 月 ○ICT（デジタル）利用促進 ・商大生がサポートする教室 7 月 ・講座「シニアの ICT（スマホ）利用実態と活用への促進策 11 月 講師 [redacted]（津田塾大学講師）（シニア社会学会委員） ○地域福祉を知る ・社会的課題に向けてボランティアの可能性 講師 [redacted]（千葉商科大学人間社会学部准教授） 9 月 ・「みんなのサンタ」事業の展開と今後の課題 講師 [redacted]（NPO 法人みんなのサンタ理事長） 10 月 ・「防災に備える」 講師 [redacted]（防災コンダクター） 2 月
	外部講師等への依頼はありますか	なし / ○あり （参加する市民の人数 450 人）

準備スケジュール (別紙添付可)	(時期)	(やること)	(担当人数)
	4月	前ページ参照	他8名
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
広報の計画 及び方法		※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画 (別紙添付可) 2 広報の方法 ☒ インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPO Web、ホームページ、Facebook、 ツイッター等) ☐ フリーペーパーへの掲載 ☒ 広報いちかわ (市民の広場) に掲載 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☒ その他 (会員への配布)	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	290,000	団体の本会計より充当
合 計	440,000	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	270,000	270,000	30,000×3 20,000×5 40,000×2
交通費	30,000	30,000	実行委員交通費実費 500円×10人×6回
消耗品費	50,000	50,000	インク・紙代 持込紙代
印刷製本費	70,000	50,000	資料印刷代
通信運搬費	20,000	0	資料配布のための郵送料・宅急便費用・電話代
保険料			
使用料 及び賃借料			
原材料費			
合 計	440,000	400,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和 3 年度の事業報告

団体名称 ナルク市川

1. 事業の成果

ナルク活動が地域福祉に貢献することをめざし、年間計画で取り組んできたがコロナ禍のため実質3カ月の活動に止まった。「市民公開講座」は8回の実施で304名（前年は3回で138名）の参加者だった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
「市民公開講座事業」	講座・イベント	年8回	男女共同参画センター・全日警ホール	45人	450人 (304人)	440,000
自立支援事業	健康体操・園芸など	年30回	男女共同参画センターなど	90人	500人 (400人)	10,000
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				135人 (a)	950人(b) (704人)	450,000 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
運営委員会・4役会 議	企画・実行打ち合わせ	年16回	男女共同参画センター	350人	350人 (人)	70,000
対外活動	エリア会議	2回	千葉市	3人	3人 (人)	10,000
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				353人 (d)	353人(e) (人)	80,000 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 488	(b)+(e)=(h) 1,303	(c)+(f)=(i) 530,000

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
	28%	73%	85%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としていない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和5年 2月9日

団体名 特定非営利活動法人
ニッポンアクティブライフクラブ
市川拠点「ナルク市川」

代表者名 XXXXXXXXXX

(自署又は押印)

様式第1号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2023 年 2 月 5 日

市川市長

団 体 名 MOA 食育ネットワーク千葉・ハピネスクラブ

代 表 者 名

所 在 地

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称 健康を守る自然食中心の食育推進事業

2 補助対象事業の概要

（補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。）

元気になる食事法 ～自然にならって健康づくり～をテーマに健康法の講習会や体験の場を提供してまいります。

長引く新型コロナウイルスの感染を考慮しつつ、病を克服できる自己免疫力を高めて又日常的な運動習慣を取り入れて体力をつけるプログラムを展開して参ります。

具体的な内容は講演「あなたの健康チェック」と体験会、心の健康法「読み聞かせとバイオリン演奏の会」、市民祭り参加（自然農法紹介、岡田式健康法、花一輪の癒し、肩こり度測定）、食育セミナー（自然野菜おせち料理、自然農法味噌づくり）、心と身体の健康に美術館で美術文化活動、東京療院にて専門医師講演と自然食材調理法解説付き食体験

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

（該当する回数に○を付けてください。） 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 296, 300 円

5 補助対象経費総額 131, 100 円

6 交付申請額 65, 550 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



様式第2号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書

1 団体の概要

団 体 名	MOA 食育ネットワーク千葉・ハピネスクラブ		
代 表 者 氏 名	[REDACTED]		
主たる事務所の所在地	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ） 】		
その他事務所の所在地	[REDACTED]		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	☒ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☐ 2 社会教育の推進 ☐ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☐ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 災害救援活動 ☐ 9 地域の安全の確保 ☐ 10 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 11 国際協力 ☐ 12 男女共同参画社会の形成の促進 ☐ 13 子どもの健全育成 ☐ 14 情報化社会の発展 ☐ 15 科学技術の振興 ☐ 16 経済活動の活性化 ☐ 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 ☐ 18 消費者の保護 ☐ 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 ☐ 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	平成 18 年 3 月	会 員 数	41 名（令和 4 年 12 月現在）
ホ ー ム ペ ー ジ		E - m a i l	Moasaito03@jcom.zaq.ne.jp
会 報 等 の 発 行	有 （ 回 発行 ） 無		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	食育を通じて多くの参加者が健康で豊かな生活を送ることが出来る様貢献したい。自然農法の農産物や自然食品を使い、健康を増進出来る「食」を広く知らせて行きます。MOA の食育セミナーや岡田式健康法を通して人びとがスピリチュアルな向上、感謝の心、利他の精神を養い幸せな家庭を築くことを願っています。 （注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ はい いいえ ）		

主 な 事 業 内 容	健康で豊かな社会作りへの行動の一環として自然を尊び自然に即して生きるための実践として食育セミナーや岡田式健康法の体験会や講演会を開催する。 又豊かな精神生活に役立つ美術館見学や花の癒し体験会開催。
こ れ ま で の 主 な 活 動 実 績	新型コロナ蔓延以前： ○食育セミナーを公民館にて継続的に開催 ○オープンガーデンプログラムに参加 ○自然農法収穫体験バスツアーや見学会 昨年来の活動： ○「癒しのひととき」読み聞かせ、バイオリン演奏会、一輪の花癒し ○市民まつり参加：自然農法野菜果物販売、岡田式健康法体験、一輪の花癒し ○「あなたの健康チェック」講演会と浄化療法体験、肩凝り度チェック、花の癒し ○食育セミナー自然農法産の材料で味噌作りキットによる手作り味噌 ○健康塾定期開催：宮田ふれ合い館、南行徳市民センター
団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	
団体の特徴、アピールをしたいこと等	市民の急速な高齢化に伴い医療費増大が深刻な問題となっていますが、日常生活に健康法を取り入れ運動や食生活を見直すことで自己免疫力を高め医療に頼らない体と心の健康生活を目指しています。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
会長		責任者	市川市
会計		会計	市川市
理事		総務	市川市
理事		企画	市川市
理事		企画	市川市

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	健康を守る自然食中心の食育推進事業																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td>✓</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>✓</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>✓</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td></td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>✓</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td></td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td></td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td></td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td></td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td></td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td></td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td></td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>✓</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td></td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td></td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td></td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td></td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>✓</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td></td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td></td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	✓	1 保健、医療又は福祉の増進	✓	2 社会教育の推進	✓	3 まちづくりの推進		4 観光の振興	✓	5 農業又は水産業の振興		6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興		7 環境の保全		8 災害救援活動		9 地域の安全の確保		10 人権の擁護又は平和の推進		11 国際協力		12 男女共同参画社会の形成の促進	✓	13 子どもの健全育成		14 情報化社会の発展		15 科学技術の振興		16 経済活動の活性化		17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	✓	18 消費者の保護		19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援		20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
✓	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
✓	2 社会教育の推進																																								
✓	3 まちづくりの推進																																								
	4 観光の振興																																								
✓	5 農業又は水産業の振興																																								
	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
	7 環境の保全																																								
	8 災害救援活動																																								
	9 地域の安全の確保																																								
	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
	11 国際協力																																								
	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
✓	13 子どもの健全育成																																								
	14 情報化社会の発展																																								
	15 科学技術の振興																																								
	16 経済活動の活性化																																								
	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
✓	18 消費者の保護																																								
	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	高齢化や不健全な生活習慣や偏った食生活から生じる健康問題の解決。																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	心身の健康に問題を抱えている方及びより健康生活を目指す市民 健康に関心を持ち、積極的に食生活を改善することを希望している方々。 子供の食物アレルギーなど問題を抱えていて、より安全安心な食材を求めて いる保護者。																																								
事業を行う目的は 何ですか	自然農法の旬の野菜、無添加自然食品を取り入れた食セミナーを開催し、健 康法体験会や健康度チェック講演会開催し、子供たちの健全育成に役立つこ と、高齢者の健康長寿の力になるよう願っています。 美術や音楽等文化活動でのストレス軽減。																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	<table border="0"> <tr> <td>講演会</td> <td>セミナー</td> <td>講座</td> <td>研修会</td> <td>ワークショップ</td> <td>交流会</td> </tr> <tr> <td>大会開催</td> <td>発表会</td> <td>コンサート</td> <td></td> <td>訓練・養成</td> <td>体験学習</td> </tr> <tr> <td>フェスティバル</td> <td>保全活動</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> その他：調理実習、美術文化活動	講演会	セミナー	講座	研修会	ワークショップ	交流会	大会開催	発表会	コンサート		訓練・養成	体験学習	フェスティバル	保全活動																										
講演会	セミナー	講座	研修会	ワークショップ	交流会																																				
大会開催	発表会	コンサート		訓練・養成	体験学習																																				
フェスティバル	保全活動																																								
事業の主体 (該当するものに○)	当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足																																								

改善状況		審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） 指摘なし / 指摘あり	改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか	市川市民 （参加想定人数 200 人）	
	事業はいつ行いますか	令和5年4月から令和6年3月まで	
	事業はどこで行いますか	市川公民館、行徳公民館、富美浜ふれ合い館、宮田ふれ合い館、八幡市民会館、南行徳市民センター談話室、美術館	
	事業をどのように行いますか （事業の内容を具体的に記載してください。）	食育セミナー、食養生研修 旬の食材を使った季節の調理実習を行いつつ、心と体の健康研修会 食材は出来るだけ自然食材を取り入れます 米は自然農法産七分づき、調味料は無添加の自然食品 塩分と脂肪分を控えたメタボ防止対策 薄味の秘訣は鰹厚削りと昆布出汁取りで健康志向 会場内テーブルフラワーの癒し効果を体験 季節の伝統料理おせち手作り 自然の大豆と麴を使い、手前みそを仕込みます 第三回健康チェックセミナーで、「元気になる食事法」講演会開催とともに自己免疫力増進に役立つ岡田式健康法体験会 市民まつりに参加して浄化療法、一輪の生け花体験、自然食品紹介販売 傾聴の癒し（読み聞かせとバイオリン演奏会） 健全な精神生活に役立つ生け花、美術セミナーや美術館見学会など	
	外部講師等への依頼はありますか	なし / あり （参加する市民の人数 3回 100人）	

(時期)	(やること)	(担当人数)
4月	アートセラピー 上野美術館鑑賞会	2人
5月	傾聴の癒し(読み聞かせ会、バイオリン演奏会)	3人
6月		
7月	食養生セミナー (東京療院医師)	3人
8月	生活改善プログラム(統合医療体験会)	2人
9月		
10月		
11月	いちかわ市民まつり参加(自然農法産野菜果物販売 岡田式健康法体験、生花セラピー)	20人
11月	「あなたの健康チェック」(統合医療講演、岡田式健康法体験、肩凝度計測チェック)	2人
12月	食育セミナー(さんのお節料理)	3人
1月		
2月	食育セミナー「自然のて作り味噌作り」	4人
3月		人
		6人
		4人
広報の計画 及び方法	※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画(別紙添付可) 開催各回のパンフレットを作製して会員とその友達に配布 参加経験者への電話作戦とインターネット上に募集広告掲載 2 広報の方法 インターネットを活用した情報発信 ☒ (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) フリーペーパーへの掲載 ☒ 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☒ その他 (開催通知ハガキやパンフレットの郵送)	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	155,000	アートセラピー（20名×500円）、食養生セミナー（20名×2,500円）、市民まつり（50名×100円）、健康チェック（20名×500円）、食育セミナー（20名×1,000円）、味噌作り（20名×3,000円）
寄附金収入	20,000	明社会
補助金収入	65,550	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	55,750	団体の本会計より充当
合 計	296,300	

2 【支 出】 (単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	67,000	67,000	読み聞かせ会（演者5名×1,000円＋バイオリン奏者5,000円）、食養生セミナー（講師料＋健康度測定20,000円）、市民まつり（7,000円）、健康チェック（＋ナース20,000円）、食育セミナー（10,000円）
交通費	0	0	
消耗品費	14,000	14,000	生花代金（市民まつり6,000円、健康チェック3,000円、食育セミナー2,000円）、印刷用紙500円、インク2,500円
印刷製本費			
通信運搬費	2,100	2,100	切手84円×10枚、はがき63円×20枚
保険料			
使用料 及び賃借料	52,000	48,000	市民まつり参加費28,000円、美術館入館料20名×1,000円、公民館等会場費4,000円（対象外）
その他	161,200	0	昼食＋弁当＋お茶＋味噌材料
合 計	296,300	131,100	

備考

- 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和4 年度の事業報告

団体名称 MOA食育ネットワーク千葉・ハビネスクラブ

1. 事業の成果

新型コロナウイルスの感染がおさまる事を前提に各種のプログラムを企画致しましたが、食育セミナーに欠かせない公民館の調理実習室が使えず、講演会や体験会を実践致しました。昨年に引き続きセミナー「あなたの健康チェック」心と身体を癒す岡田式健康法をテーマにMOA健康科学センター■■■■博士の公演と肩こり度計測及び浄化療法体験し、参加者の健康増進に役立て頂きました。又心を癒す「読み聞かせとバイオリン演奏会」を開催致しました。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
あなたの健康チェック	心と身体を癒す岡田式健康法	11月23日	全日警ホール	20人	15人 (13人)	24,867
癒しのひと時	読み聞かせとバイオリン演奏会	9月23日	南行徳市民談話室	3人	25人 (24人)	13,800
市民祭り参加	自然野菜販売、生け花体験、岡田式健康法	11月3日	防災公園	15人	100人 (95人)	34,190
				人	人 (人)	
小計				38人 (a)	140人(b) (132人)	72,857 (c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び述べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
MOA健康塾	岡田式健康法実践	毎月最終日曜日	宮田ふれあい館	2人	48人 (48人)	14,400
MOA健康塾	岡田式健康法実践	毎月最終日曜日	南行徳市民談話室	2人	156人 (156人)	46,800
				人	人 (人)	
				人	人 (人)	
小計				4人 (d)	204人(e) (204人)	61,200 (f)
合計				(a)+(d)=(g) 42	(b)+(e)=(h) 344	(c)+(f)=(i) 134,057

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
	90%	41%	54%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

令和 5 年 2 月 9 日

団体名 MOA 食育ネットワーク千葉・ハピネスクラブ

代表者名

(自署又は押印)

様式第1号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

2023年1月21日

市川市長

団体名 古事記に親しむ会
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 補助対象事業の名称:

第1回 落語 de 古事記 <エピソード1>

2 補助対象事業の概要

(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)

(目的) 日本最古の古典「古事記」による日本神話、伝説、天皇の系譜等の日本文化・精神は日本人の誇りであり、10年前から講座を主催し、「古事記」の学びと普及に尽力している。この度、古事記に記載されているエピソードを、落語と朗読を通じて古事記をより身近に感じてもらう事を目的とするイベントを開催する。

(内容) XXXXXXXXXX その一門 及び 千葉大学 落語研究会にエピソードを語ってもらい、その個所の朗読 及び 現代語訳を行う。

(効果) 古代文学は、難しくとっつきにくいものとして往々に敬遠されているが、落語 de 古事記のイベントを通じて日本文化・伝統に誇りを持ち、身近に感じてもらうことが出来る。

3 申請に係る補助対象事業の申請回数

(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上

4 補助対象事業費総額 260,000 円

5 補助対象経費総額 235,000 円

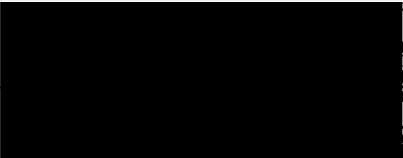
6 交付申請額 117,500 円

7 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
- (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
- (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
- (4) 規約、会則、定款等の写し
- (5) その他市長が必要と認める書類



1 団体の概要

団 体 名	古事記に親しむ会																																										
代 表 者 氏 名																																											
主たる事務所の 所 在 地	【 専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ） 】																																										
その他事務所の 所 在 地	なし																																										
規約等に記載さ れる活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	<table border="1"> <tr><td>☐</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☒</td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>			☐	1 保健、医療又は福祉の増進	☐	2 社会教育の推進	☐	3 まちづくりの推進	☐	4 観光の振興	☐	5 農業又は水産業の振興	☒	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☐	7 環境の保全	☐	8 災害救援活動	☐	9 地域の安全の確保	☐	10 人権の擁護又は平和の推進	☐	11 国際協力	☐	12 男女共同参画社会の形成の促進	☐	13 子どもの健全育成	☐	14 情報化社会の発展	☐	15 科学技術の振興	☐	16 経済活動の活性化	☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18 消費者の保護	☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☐	1 保健、医療又は福祉の増進																																										
☐	2 社会教育の推進																																										
☐	3 まちづくりの推進																																										
☐	4 観光の振興																																										
☐	5 農業又は水産業の振興																																										
☒	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																										
☐	7 環境の保全																																										
☐	8 災害救援活動																																										
☐	9 地域の安全の確保																																										
☐	10 人権の擁護又は平和の推進																																										
☐	11 国際協力																																										
☐	12 男女共同参画社会の形成の促進																																										
☐	13 子どもの健全育成																																										
☐	14 情報化社会の発展																																										
☐	15 科学技術の振興																																										
☐	16 経済活動の活性化																																										
☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																										
☐	18 消費者の保護																																										
☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																										
☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																										
設 立 年 月 日	2013年6月1日	会 員 数	46人（2023年1月）																																								
ホ ー ム ペ ー ジ	あり	E - m a i l	unotom@fine.ocn.ne.jp																																								
会 報 等 の 発 行	有 （ 回 発行 ） ・ 無																																										

団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	「古事記」の音読と講師による解説により、そのリズムを楽しむと共に日本の神話、伝説、天皇の系譜等の日本文化・精神を学ぶ場を提供し、同時に市民に「古事記」の普及活動を行う。 (注) 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。(はい ・ いいえ)
主な事業内容	(1) 古事記の講座の運営 (2) 古事記等の古代文学に係る講演会の開催。
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	活動実績： (1) 講座：毎月第2木曜日、全日警ホールに於いて、87回実施済み (2021年3月末現在) 2017年度 年間306名 26名/1回 2018年度 年間369名 26名/1回 2019年度 年間323名 29名/1回 (1回休講・コロナ禍) 2020年度 年間45名 23名/1回 (10回休講・コロナ禍) 2021年度 年間83名 21名/1回 (8回休講・コロナ禍) 2022年度 9か月142人 16人/回 (2) バス研修会：(2016年度) 木更津及び君津での倭建命の伝承地探訪、 (2017年度) 鹿島神宮・香取神宮を訪問及、(2018年度) 横須賀・走水神社の倭建命と弟橘姫の伝説地探訪、(2019年度) 武蔵一宮・氷川神社及び歴史博物館・さいたま市、(2020年度) 中止 (3) 古事記ピアノコンサート：(2019年3月) 第1回；ピアノフルート 参加者・210名、全日警ホールにて開催、 (2020年3月及び2021年3月) 第2回目を2回にわたり準備したがコロナ禍の為に中止となった。 (4) 講演会： 第1回講演会 (2020年11月)；講師・ 演題： 「万葉集から見る真の古代史」、参加者・50名、全日警ホール 第2回講演会 (2022年10月)： 演題：古代の神話と伝説 補助金・市川市市民活動団体事業補助金 (2016年度 162,497円) (2017年度 214,821円) (2018年度 54,778円) (2019年度 27,857円) (2020年度 12,225円) (2021年度 零：イベント中止の為) (2022年度 86,089円)
団体の特徴、アピールをしたいこと等	「古事記」の古文を全員が声をそろえて、音読することで、そのリズムを楽しむことができる。 講師は、千葉大学大学院 准教授 で、現代語訳、及び語源の解説 並びに 日本書紀、風土記などの関連文献にも言及され、より広い視野で理解を深めることができる。

	「古事記」をより親しみ、楽しむ為に、講座以外に、講演会などを開催している。
--	---------------------------------------

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における 役割	住 所		
代表		統括		市川市	
幹事		会計		市川市	
〃		運営		千葉市	
〃		運営		市川市	
監事		監査		市川市	

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	第1回 落語 de 古事記 <エピソード1>
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	☐ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☒ 2 社会教育の推進 ☐ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☒ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 地域の安全の確保 ☐ 9 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 10 男女協同参画社会の形成の促進 ☐ 11 子どもの健全育成 ☐ 12 情報化社会の発展 ☐ 13 科学技術の振興 ☐ 14 経済活動の活性化 ☐ 15 消費者の保護 ☐ 16 災害救援活動 ☐ 17 国際協力 ☐ 18 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 ☐ 19 上記の活動及びアからウまでに掲げる活動を行う団体の運営又は当該活動に係る連絡、助言又は援助に関する活動 ☐ 20 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
解決したい地域課 題は何ですか	過去10年間、「古事記」の講座、講演会を通じて日本文化・精神の普及に努めてきたが、もっと身近に「古事記」を感じる場がなかった。
地域課題により困 っている人は誰で すか	・日本の神話、伝説及び歴史を学びたい人 ・古事記の原文に接し、理解したい人 ・古代人の自然観・世界観について知りたい人
事業を行う目的は 何ですか	「古事記」は、遠くにある物ものではなく、身近にものであることを落語を通じて、市民が古代文学に興味を持って頂くようにする
事業の実施方法 (該当するものに○、例 示以外は具体的に記載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 その他：

事業の主体 (該当するものに○)		☒ 当該団体 / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足
改善状況		審査会からの指摘事項 (以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること) ☒ 指摘なし / ☐ 指摘あり
事業内容	事業の対象者は誰ですか	市川市及び近隣の市民 (参加想定人数：150人)
	事業はいつ行いますか	2023年11月25日(土) 12時～16時
	事業はどこで行いますか	全日警ホール (市川市八幡市民会館)
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。)	落語家真打・ XXXXXXXXXX さん、同一門、及び 千葉大学落語研究会により古事記の中のエピソードを語ってもらう。一方、それのもとになった古事記の口語訳及び原文を会員が朗読する。
	外部講師等への依頼はありますか	なし / ☒ あり (参加する市民の人数 100人)

準備スケジュール (別紙添付可)	((時期))	(やること)	(担当人数)
	5 月	チラシの原案、後援先から承諾取得	5 名
	6 月	チラシ印刷、チラシ配布	5 名
	7 月	告知協力申入れ (市川市広報、地域新聞、月刊誌等)	2 名
	8 月	参加者募集を推進	5 名
	10 月	会場・全日警ホール事前現場合わせ	5 名
	11 月	落語 de 古事記 実施 (会場準備)	5 名
広報の計画及び方法		※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画 (別紙添付可) ・7 月～8 月：チラシを、公民館、図書館等の公共施設に配布 ・10 月：市川市広報、地域新聞、朝日新聞、月刊誌等に掲載 2 広報の方法 ☐ インターネットを活用した情報発信 ☒ ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook、ツイッター等) フリーペーパーへの掲載 広報いちかわ (市民の広場) に掲載 ☒ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 その他 ()	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	140,000	チケット販売収入（1,000円×140枚）
寄附金収入		
補助金収入	117,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	2,500	
合 計	260,000	

2 【支 出】

（単位：円）

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	150,000	150,000	謝礼3人（50,000円×3人）
消耗品費	20,000	20,000	用紙5,000円、封筒1,000円、インク5,000円、その他9,000円
印刷製本費	30,000	30,000	チラシデザイン・印刷10,000枚／25,000円、ポスター等5,000円
通信運搬費	35,000	35,000	切手16,000円、レターパック4,000円、その他15,000円
保険料			
使用料 及び賃借料	10,000	0	全日警ホール20,000円 文化芸術課後援/使用料半額減額
その他	15,000	0	広告5,000円（季刊誌「新樹」掲示） HP修正5,000円（講演会開催のPR用ページを追加） 反省食事会@1,000円×5人 ※補助対象外
合 計	260,000	235,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和3年(2021年)度の事業報告(2021.4.～2022.3.)

団体名称：古事記に親しむ会

1. 事業の成果

(1) 古事記の講座：参加者は、83名/4か月(月平均21名)となる。コロナ禍の為に休講月が続いた。(5月～9月及び1月～3月)した。

(2) 第2回古事記に親しむ会 講演会(講師：)：

2021年10月2日(土)開催を計画、補助金も確定(9万円)したが、コロナ禍の為に中止した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
古事記の講座	テキストを朗読し、神話、伝説、歴史を学んだ	毎月第2木曜日	全日 警ホール	8人	83人 (74人)	220,934
繰越金						245,028
小計				8人(a)	83人(b)	465,962(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民)	事業費の金額 (円)
新年会	懇親会	コロナ禍の為に開催出来ず			(市民 人)	
小計				(d)	(e)	(f)
合計				(a) + (d) = (g) 8人	(b) + (e) = (h) 83人	(c) + (f) = (i) 465,962円

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g)	(b) / (h)	(c) / (i)
	100%	100%	100%

(その他市長が必要と認める書類)

団体要件・事業要件に関する宣誓書

◆確認事項

団体要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 営利を目的としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☒ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☒ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☒ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☒ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☒ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☒ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下、該当する項目に ☒ チェックをしてください。
	☒ 原則として市内において実施する ☒ 営利を目的としていない ☒ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☒ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☒ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない ☒ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☒ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☒ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が警察署に照会すること、及び条例8条6項に基づき、補助決定事業の内容を公開することに同意します。

2023年1月21日

団体名 古事記に親しむ会

代表者名

(自署又は押印)

市川市市民活動団体事業補助金交付申請書

令和5年1月23日

市川市長

団体名 NPO 法人市川子どもの外遊びの会
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

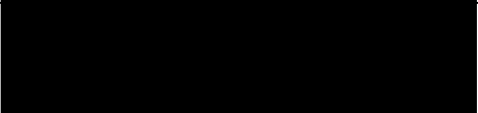
市川市市民活動団体事業補助金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

- 1 補助対象事業の名称
子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業
- 2 補助対象事業の概要
(補助対象事業の目的、内容及び効果、解決される課題等が分かるように記載してください。
別紙添付可。)
どんな状況の子どもでも参加できるプレーパークを行うことによって、子どもが安心して自由に外遊びできる場を設ける。
学校や家庭以外の環境で、遊びを通して様々な人間関係を構築できる場を作る。
- 3 申請に係る補助対象事業の申請回数
(該当する回数に○を付けてください。) 1回 / 2回 / 3回 / 4回以上
- 4 補助対象事業費総額 384,500 円
- 5 補助対象経費総額 384,500 円
- 6 交付申請額 150,000 円
- 7 添付書類
 - (1) 市川市市民活動団体事業補助金団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書（様式第3号）
 - (3) 市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書（様式第4号）
 - (4) 規約、会則、定款等の写し
 - (5) その他市長が必要と認める書類



I 団体の概要

団 体 名	NPO 法人市川子どもの外遊びの会		
代 表 者 氏 名			
主たる事務所の 所 在 地	 【 専用事務所 ・ <u>住居と兼用</u> ・ その他（ ） 】		
その他事務所の 所 在 地	なし		
規約等に記載される活動の分野 主分野1つに◎ その他分野に○	☐ 1 保健、医療又は福祉の増進 ☐ 2 社会教育の推進 ☐ 3 まちづくりの推進 ☐ 4 観光の振興 ☐ 5 農業又は水産業の振興 ☐ 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ☐ 7 環境の保全 ☐ 8 災害救援活動 ☐ 9 地域の安全の確保 ☐ 10 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 11 国際協力 ☐ 12 男女共同参画社会の形成の促進 ☒ 13 子どもの健全育成 ☐ 14 情報化社会の発展 ☐ 15 科学技術の振興 ☐ 16 経済活動の活性化 ☐ 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援 ☐ 18 消費者の保護 ☐ 19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援 ☐ 20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野		
設 立 年 月 日	平成23年3月9日	会 員 数	40名（令和5年1月現在）
ホ ー ム ペ ー ジ	https://ichikawaasobibo.wixsite.com/sotoasobi	E - m a i l	ichikawa.asobibo@gmail.com
会 報 等 の 発 行	☐ 有 （ 年4回 発行 ） ・ 無		
団体の活動目的 団体の活動目的を簡潔明瞭に記載してください。	地域の子どもたちが身近な自然の中でのびのび遊べる場をつくることによって、自然への気づきを促し、子どもたちの自己肯定感を高め、自主性や社会性を育み、年齢を越えた交流を図るとともに、大人も、子どもたちが遊びを通して自然体験や社会体験を重ね育ち合うことを理解し、外遊びの大切さと、地域全体で子どもの育ちを見守る意義を社会に伝え、子どもたちの健全育成と育ちあう心豊かな地域コミュニティづくりに寄与することを目的とする。 （注） 団体の定款や規約の活動目的に「社会貢献に係る分野の活動（不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものに限る。）」のことが定められていますか。（ ☒ はい ・ いいえ ）		

主な事業内容	子育て中の親、地域の人、行政、他団体などと協力しながらプレーパークをつくり、運営する。 子どもの遊びを見守る大人の輪を広げるための働きかけを行う。
これまでの主な活動実績 団体の主たる取組を簡潔に記載してください。 これまでに団体として受けた補助金等があれば記載してください（自由記載）。	・ 定期プレーパークの開催 ・ 乳幼児向けプレーパークの開催 ・ 出前プレーパークの開催（他団体と共催・協力など） ・ プレーパーク見学会（市外）の開催 ・ 講座の開催（プレーパーク学習会等） 助成金：中央ろうきん（平成24年、25年、26年 各30万円） 夢まるふぁんど（平成28年 25万円） 千葉商科大学（平成30年 30万円） 子どもゆめ基金（令和元年 10万円） 大和証券（令和2年 30万円） 麒麟財団（令和3年 30万円） こくみん共済coop（令和4年 30万円） 積水ハウス（令和4年 30万円）
団体の特徴、アピールをしたいこと等	自然の中で、誰でも自由に思いきり遊べる場（プレーパーク）を作っており、参加費は無料、申込みも不要。 プレーパークでは、どろんこ、たき火、ロープ遊びなど、子どものやりたい遊びを実現することができる。 さまざまな遊びがあるため、乳幼児から大人までが楽しむことができる。

2 申請に係る連絡先

事務所連絡先	
連絡責任者	
E - m a i l	
連絡手段の優先度	

3 役員名簿（別紙添付可）

役 職	役 員 氏 名	事業における役割	住 所
代表理事		当日スタッフ・打合せ・広報	松戸市
副代表理事		当日スタッフ・打合せ・材料準備	市川市
理事		当日スタッフ・打合せ・材料準備	市川市
監事		当日スタッフ・打合せ	船橋市
正会員		当日スタッフ・打合せ	市川市

市川市市民活動団体事業補助金申請事業計画書

補助対象事業 の名称	子どもが安心して自由に外遊びするためのプレーパーク事業																																								
補助対象事業が該 当する分野 (該当分野に✓)	<table border="1"> <tr><td>☐</td><td>1 保健、医療又は福祉の増進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>2 社会教育の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>3 まちづくりの推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>4 観光の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>5 農業又は水産業の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>7 環境の保全</td></tr> <tr><td>☐</td><td>8 災害救援活動</td></tr> <tr><td>☐</td><td>9 地域の安全の確保</td></tr> <tr><td>☐</td><td>10 人権の擁護又は平和の推進</td></tr> <tr><td>☐</td><td>11 国際協力</td></tr> <tr><td>☐</td><td>12 男女共同参画社会の形成の促進</td></tr> <tr><td>☒</td><td>13 子どもの健全育成</td></tr> <tr><td>☐</td><td>14 情報化社会の発展</td></tr> <tr><td>☐</td><td>15 科学技術の振興</td></tr> <tr><td>☐</td><td>16 経済活動の活性化</td></tr> <tr><td>☐</td><td>17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>18 消費者の保護</td></tr> <tr><td>☐</td><td>19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援</td></tr> <tr><td>☐</td><td>20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野</td></tr> </table>	☐	1 保健、医療又は福祉の増進	☐	2 社会教育の推進	☐	3 まちづくりの推進	☐	4 観光の振興	☐	5 農業又は水産業の振興	☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興	☐	7 環境の保全	☐	8 災害救援活動	☐	9 地域の安全の確保	☐	10 人権の擁護又は平和の推進	☐	11 国際協力	☐	12 男女共同参画社会の形成の促進	☒	13 子どもの健全育成	☐	14 情報化社会の発展	☐	15 科学技術の振興	☐	16 経済活動の活性化	☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援	☐	18 消費者の保護	☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援	☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野
☐	1 保健、医療又は福祉の増進																																								
☐	2 社会教育の推進																																								
☐	3 まちづくりの推進																																								
☐	4 観光の振興																																								
☐	5 農業又は水産業の振興																																								
☐	6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興																																								
☐	7 環境の保全																																								
☐	8 災害救援活動																																								
☐	9 地域の安全の確保																																								
☐	10 人権の擁護又は平和の推進																																								
☐	11 国際協力																																								
☐	12 男女共同参画社会の形成の促進																																								
☒	13 子どもの健全育成																																								
☐	14 情報化社会の発展																																								
☐	15 科学技術の振興																																								
☐	16 経済活動の活性化																																								
☐	17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充に対する支援																																								
☐	18 消費者の保護																																								
☐	19 前各号に掲げる分野の活動を行う団体に対する支援																																								
☐	20 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める分野																																								
解決したい地域課 題は何ですか	・ 子どもが自由に外で遊べる場が少なくなっている ・ 不審者等の問題があり、安心して外遊びがしにくい ・ 核家族化等により、子どもが多様な大人と接する機会が少なくなっており、地域の中で育つことが難しくなっている																																								
地域課題により困 っている人は誰で すか	成長する上で「遊ぶ」ことを必要としている子どもとその周辺の大人 (子どもには、各種障がい、外国籍、貧困などさまざまな状況に置かれた子どもたちを含む)																																								
事業を行う目的は 何ですか	プレーパークを行うことによって、子どもが安心して自由に外遊びできる場を設ける さまざまな状況に置かれた子どもたちが、外遊びを通してコミュニケーションを学び、成長できる場を設ける。																																								
事業の実施方法 (該当するものに○、 例示以外は具体的に記 載)	講演会 セミナー 講座 研修会 ワークショップ 交流会 大会開催 発表会 コンサート 訓練・養成 体験学習 フェスティバル 保全活動 <u>その他</u>：プレーパーク																																								
事業の主体 (該当するものに○)	<u>当該団体</u> / 市の他課 / 他の団体 / その他 () 上記に関する補足																																								

改善状況	審査会からの指摘事項（以前に指摘があった場合は改善策を必ず記入すること） 指摘 なし / 指摘 あり 改善策
事業内容	事業の対象者は誰ですか 0歳から18歳までの子どもとその保護者 (参加想定人数 のべ1200人)
	事業はいつ行いますか 2023年4月～2024年3月（8月・2月を除く） 第2・第4土曜日
	事業はどこで行いますか 宮久保プレーパーク（市川市宮久保1-8）
	事業をどのように行いますか (事業の内容を具体的に記載してください。) - 子どもたちが安心して自由に遊べるプレーパークを開催する。 助成金事業として7年間活動し、のべ14,500人の参加があり、多くの子どもたちに外遊びの場を提供することができた。参加者からは「他に外で遊べる場がない」という声も多く聞き、今後もこの活動を継続していくことが重要だと考える。 - 活動の名称を「プレーパーク市川冒険あそびば」とする。 - プレーパークでは、子どもたちが多くのことに挑戦できるよう、様々な遊びの種類を用意する。 遊びの種類は、周辺の環境、季節、天候などにより決定する。 (例) たき火、どろんこ遊び、水遊び、しゃぼん玉、ハンモック、ロープ遊び（モンキーロープ、ターザンロープ）、昔遊び（ケン玉、コマ、ベーゴマ）など - 環境（場所、季節、天候など）や年齢層に合わせた遊びの決定、遊具の設置、子どもの遊びの見守りなど、特に安全面に配慮するため、専門の知識と経験を持ったプレイワーカー（有償）に協力をお願いする。 (プレイワーカー) 四街道市を中心にプレイワーカーとして活動中。 20回来ていただく予定。 - どんな状況の子どもでも参加できるよう、参加条件は定めない。 参加費はなし、申込みも不要とする。 - 新型コロナウイルス対策として、手洗い、消毒、マスクの着用などの声かけを行う。 - 雨天時、強風時等は活動を中止する。

	外部講師等への依頼はありますか	なし / ☒ あり (参加する市民の人数 のべ1200人)	
準備スケジュール (別紙添付可)	(時期) 4月～3月	(やること) スタッフ打合せ(2回/月) 責任者: XXXXXXXXXX 広報(ホームページ、Facebook、メールマガジン発行等) 責任者: XXXXXXXXXX 材料準備 責任者: XXXXXXXXXX プレーパーク市川冒険あそびば実施(2回/月) 責任者: XXXXXXXXXX	(担当人数) 各5人 2人 2人 各4人
	広報の計画及び方法	※ 広く市民の参加を呼び掛けるための具体的な広報の計画及び方法を記載してください。 1 広報の計画(別紙添付可) メールマガジン、ホームページ等を活用し、活動の予定を毎月発信する。 チラシを作成し、こども館、近隣小学校、子育てイベント等で配布する。 2 広報の方法 ☒ インターネットを活用した情報発信 (ボランティア・NPOWeb、ホームページ、Facebook等) ☐ フリーペーパーへの掲載 ☐ 広報いちかわ(市民の広場)に掲載 ☒ 公民館等の公共施設へのポスターの掲示、チラシの配布等 ☒ その他 (年4回の会報の発行)	

様式第4号（第5条関係）

市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支予算書

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	234,500	団体の本会計より充当
合 計	384,500	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	300,000	300,000	プレイワーカー謝礼 15000円×20回
交通費	40,000	40,000	スタッフ交通費 500円×4人×20回
消耗品費	35,000	35,000	印刷用紙、インク、炭、グリセリン、洗剤等
印刷製本費	5,000	5,000	チラシ、パンフレット印刷
通信運搬費	1,000	1,000	振込手数料 100円×10回
保険料	3,500	3,500	ボランティア保険 350円×10人
使用料 及び賃借料			
原材料費			
合 計	384,500	384,500	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

(その他市長が必要と認める書類)

令和3年度の事業報告 (令和3年4月～令和4年3月)

団体名称 NPO 法人市川子どもの外遊びの会

1. 事業の成果

定期的に、かつ継続してプレーパークの活動を行ったことで、多くの子どもたちに外遊びの場を提供することができた。また、子どもだけでも安心して遊べる場所だという認識が市民に広まり、子どもだけでの参加が増えた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動にかかる事業 (市民(会員以外)の参加がある事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
プレーパークの開催	市川冒険あそびば	毎月第2・第4土曜日、第3日曜日 (計30回)	宮久保プレーパーク、里見公園	102人	2,782人 (2,426人)	624,378
	平日あそびば	6月9日、7月14日他(計4回)	宮久保プレーパーク	23人	145人 (141人)	110,931
	出前あそびば	8月21日(計1回)	東海面公園	4人	305人 (305人)	1,280
広報	会報の発行	6月16日、9月16日他(計4回)	市川市内	8人	1,200人 (1,000人)	7,040
小計				137人 (a)	4,432人 (3,872人)(b)	743,629(c)

(2) 会員のためだけに行う事業 (市民(会員以外)の参加がない事業)

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の延べ人数	受益対象者の範囲及び延べ人数 (うち市民の数)	事業費の金額 (円)
定例会	定例会議	毎月第2、第4水曜日 (計20回)	オンライン	93人	111人 (53人)	15,335
事務運営費ほか						76,607
小計				93人(d)	111人(53人) (e)	91,942(f)

合計	(a) + (d) = (g) 230人	(b) + (e) = (h) 4,543人	(c) + (f) = (i) 835,571
----	-------------------------	---------------------------	----------------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (g) 60%	(b) / (h) 98%	(c) / (i) 89%
---	------------------	------------------	------------------

団体要件・事業要件に関する宣誓書

団体要件	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。 ☑ 営利を目的としていない ☑ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的とした活動を行っていない。 ☑ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とした活動を行っていない ☑ 特定の公職（公職選挙法第3条に規定する公職）の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とした活動を行っていない ☑ 法令、条例等に違反する活動をしていない ☑ 公の秩序又は善良の風俗を害する活動をしていない ☑ 申請書の提出にかかる年度から起算して5年以内に、偽りその他不正な手段により補助金の交付決定を受けたことにより、当該決定の全部又は一部を取り消されていない ☑ 団体又は団体役員等が暴力団等に該当していない ☑ その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
	以下、該当する項目に☑チェックをしてください。 ☑ 原則として市内において実施する ☑ 営利を目的としていない ☑ 参加者の50%以上は市川市民を予定している ☑ 当該市民活動団体の構成員のみを対象としていない ☑ 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的としてない ☑ 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的としていない ☑ 特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない ☑ 補助金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない
事業要件	

令和5年1月23日

代表者名 XXXXXXXXXX